農林水産省九州農政局

福岡県拠点だより

MAFFとは農林水産省の英語表記「Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries」の略称です。

Contents

- → 農業委員会で活躍する女性を紹介します! (篠栗町)
- → やまももの森プロジェクト (那珂川市) ~産学官の連携で特産品を育成~
- → 既存施設を活用した新たな堆肥製造の実証(JA筑前あさくら)

農業委員会で活躍する女性を紹介します!(篠栗町)

篠栗町農業委員会は、令和5年7月の改選で女性農業委員が5名となり、定数12名のうち女性 が占める割合は41%と、全国的に見ても高い女性登用率です。積極的に活動している女性農業委 員の皆様と事務局長の松熊様に、女性登用の推進や活動状況などを伺いました!

家族の協力を得て 活動しています。農地関連 のことをあまり知らず不安 もありましたが、勉強になる ことも多く、農業委員になれ て良かったと思っています!

> 委員:元榮 聡子氏 (1期目、農業者)

就任当初、女性が少ない 中、話を聞いてもらえるか不安 もありましたが、男性委員の 方々は、誰の意見でも真摯に聞 いてくれるので、とても良い 雰囲気です。

> 委員:三代 由美子 氏 (3期目、司法書士)

司法書士の仕事で 農地法に携わることがあ るため、声掛けいただき、 「町に貢献できれば!」とい う思いで委員となりました。 悩むこともありますが、勉強 しながら活動しています。

> 委員:加留部 恭子 氏 (1期目、司法書士)

地域からの推薦で農業 委員になりました。農地 のパトロールをすると、 田畑なのかわからない山 林化している遊休農地が 多くて驚きました!

委員:藤木 まゆみ 氏 (1期目、農業者)

女性農業委員の 活躍を男性農業委員に 知ってもらうことが、とて も大事だと考えています。 また、農業委員会事務局の 理解と働きかけがあったこと から女性農業委員の増加に繋 がったと思います。

> 会長:鷹巣 礼子氏 (5期目、農産物加工

グループ代表

篠栗町農業委員会の女性委員の皆様。 会長を女性が務められています! 撮影日:令和6年1月



意見交換の様子

改選の際は、**女性委員と協力して、幅広く働きかけ**を 行いました。**鷹巣会長が2期連続して会長を務めていた** だいたことも非常に心強く、女性も安心して応募できた と思います。平野部での土地開発、山間部の遊休農地の 増加といった課題もありますが、**委員の皆様と協力して** 農地利用等の最適化を推進していきます!

一 事務局の働きかけは? \ 松熊事務局長より //

意見交換、ありがとうございました!

記事作成担当:九州農政局福岡県拠点地方参事官室 後藤、安永

撮影日:令和6年1月

やまももの森プロジェクト(那珂川市)

·産学官の連携で特産品を育成〜

那珂川市産のやまももを活用した特産品の開発に産学官の連携で取り組む「やまももの森 プロジェクトー。同プロジェクトの経緯や取組状況等を伺いました!

ープロジェクトのきっかけは?

2018年に市制となる機会に那珂川市の特産 品を作ろうと、那珂川市商工会女性部のメン バーが、同市のシンボル花木「やまもも」に 着目しました。やまももを使ったお菓子やド レッシングを市制施行記念式典のお土産とし て提供、和洋菓子店やレストランなどで販売 したところ、好評だったことから、**同市の支** 援を受け、「やまももの森プロジェクト」を **立ち上げ**ました。

ー 開発した商品は?

日持ちがせず収穫時期も短いことから「幻 の果実 | とも言われる**やまももを一年を通し て使えるピューレを開発**しました。甘酸っぱ いアクセントを活かして和洋菓子、アイス、 ジャムなど次々と商品化しています!

☆ やまももを使った商品 → https://www.vamamomopt.com/



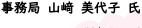
▲やまももピューレを 使ったマカロン 「やまももがたり」と いう統一ロゴシールを 作成し、同市の特産品 としてアピール



▲福岡女子商業高校の生徒がやまももを 使った商品を福岡県庁で販売している様子 ※写真は事務局ご提供

やまももの森プロジェクト には、市民や市内の福岡女子 商業高校、複数の企業・団体 に参加してもらっています。

那珂川市の豊かな自然と 「やまもも」の魅力を伝 えていきたいです!





販売イベント等で 着用するウインドブ レーカーは、福岡女 子商業高校の生徒が デザインしました!



撮影日:令和5年11月

- 今後の展望は?

農業者の高齢化が進み、やまももの生産量 確保が課題です。このため、2020年に耕作 放棄地を借りて30本のやまももを植樹、福岡 女子商業高校は授業の一環で生徒がやまもも の樹の育成から新商品開発、販売までを行う など、みんなで特産品を育てています。将来 は「観光農園として農村都市交流にも発展し ていけば! | と夢が広がっています。

意見交換、ありがとうございました!

記事作成担当:九州農政局福岡県拠点地方参事官室 岩永、福山

既存施設を活用した新たな堆肥製造の実証(JA筑前あさくら)

JA筑前あさくらは、有機栽培を体系的に学べる「アグリ ガーデンスクール&アカデミー| (朝倉市) と連携して、新 たな堆肥の製造の実証に取り組んでいます。

堆肥の完成後は、様々な農作物の栽培に使用し、慣行栽培 と有機栽培の比較を行う予定です。



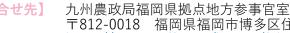
堆肥の製造工程(二次発酵)は、床下からの送風と積 み上げた原料の圧力により、原料の温度を60℃前後に 維持管理するのみ(撹拌作業は不要)。約45日で植物 に吸収されるアミノ酸を多く含む堆肥が完成予定。



堆肥原料の床下から 送風(上写真)。

> 撮影日:令和6年1月 取材へのご協力ありがとうございました!

記事作成担当:九州農政局福岡県拠点地方参事官室 斉藤、江崎、石井



〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉3-17-21 TEL 092-281-8261 (代表) https://www.maff.go.jp/kyusyu/fukuoka/index.html

